

2月3回(2月14日～2月20日)商品検査実績

●微生物検査 213 検体

検査の結果特に問題はありませんでした。

●理化学検査 95 検体

食品添加物検査	24 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
残留農薬検査	今週は実施しておりません。	
簡易農薬検査	8 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
P C R 検査	畜種判別検査	6 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。
	GMO検査	6 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。
	米のDNA異種米判定	外部検査機関に1 検体依頼しました。
	コシヒカリ品種判定	4 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。
米鮮度判定	2 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
卵鮮度判定	今週は実施しておりません。	
アレルゲン検査	8 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
ヒスタミン検査	今週は実施しておりません。	
アフラトキシン(カビ毒)	今週は実施しておりません。	
クドア(養殖ヒラメ寄生虫)	2 検体(1 検体は市販品)実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
放射性物質検査(スペクトロメータ※①)	9 体(米5 検体、野菜3 検体、果物1 検体)実施しました。全て検出限界値(約20Bq/kg)以下となりました。	
放射性物質検査(サーベイメータ※②)	25 検体(野菜9 検体、果物6 検体、きのこ10 検体)実施しました。バックグラウンドとの差異が3※③kcps(キロ・カウント・パー・セカンド)以内となりました。	

- ・ヒスタミン検査=ヒスタミンによる食中毒は、アレルギー様食中毒の一つであり、鮮度の低下したマグロやカツオ、サバなどの赤身魚やその加工品が原因となることが多いため、検査でヒスタミンの濃度を測定します。
- ・アフラトキシン=アスペルギルス属の一部のカビが産生するカビ毒で肝臓がんの原因の一つと考えられています。アフラトキシンが作られる最適条件は、温度30℃前後、湿度95%以上であるため、高温多湿の熱帯地方等が最も適しています。輸入食品の安全性に関わるため、日本では、輸入時に行う抜き取りのカビ毒検査やカビそのものが生育していないか外見上の検査を実施しています。なお、日本国内で、食品にアフラトキシン汚染が起きる可能性は低いものと考えられています。

※①NaI シンチレーションスペクトロメータ(遮蔽体付検査機器で核種を特定できるもの:ヨウ素 131、セシウム 134、セシウム 137 を測定)

※②NaI シンチレーションサーベイメータ(遮蔽体無しの持ち運びできる機器:ガンマ線総量を測定)

※③kcps(キロ・カウント・パー・セカンド):1秒間に対象となるものから何回放射性物質が放出されているか測定するものです。奈良県行政と同様にバックグラウンド(放射線測定の際の測定対象以外からの放射線で宇宙線や天然の放射性物質に起因する)との差異を3以内としました。



組合員さん VOICE

組合員さんの

想いにこたえて

みなさんから寄せられた声を商品・運用にいかす取り組みをしています。

お家で作ろう!パン屋さん
は親子で簡単にパン作りが
でき、おまけに野菜エキス入り。
引っ越して来て、手に入らな
くなったので、生協で案内して
ほしい。

実現 しました

リクエストをいただきありがとうございます。ご要望をもとに商品仕様や品質の確認などを行った結果、3月2回企画(今回お届けの案内書)で案内することが出来ました。この商品は、プレーン2個、ココア1個、ほうれん草1個、トマト1個、かぼちゃ1個の生地を詰め合わせています。通常のパン作りに必要な発酵はいりませんので解凍後、アレンジして焼くだけです。この機会にぜひお試しください。



今月のお知らせ 安心だより



工場点検

ならコープでは、取引先の工場の衛生状態や、商品が仕様通りに製造されているか、また商品苦情から取引先と確認した再発防止対策が実施されているか等を、取引先を訪問し確認しています。今回、高知県にある(株)小谷穀粉の点検を実施しました。(株)小谷穀粉では「ならコープはとむぎ茶ティーパック」が製造されています。

実施したこと

原料の確認については、国産はと麦と国産大麦を使用した商品であることから、原料の産地、放射性物質の検査状況、残留農薬検査状況などに問題ないことを確認しました。また、製造工程にも問題はありませんでした。



商品検査レポート 1月に行った商品検査の結果をご案内します。

毎月の検査結果はHPIにも記載しています。▶ <http://www.naracoop.or.jp/goods/letter/kensadayori.html>

微生物検査	検査数 908	店舗新規商品検査において、「日配1商品」が大腸菌群において自主基準不適合となったことから工程管理を見直して再検査を実施しました。再検査では自主基準に適合する結果となりました。								
理化学検査	検査数 491	主な 検査項目	食品添加物 157	簡易農薬 53	畜種判定 6	残留農薬 (外品検査機関へ依頼) 15	精米品種判定 (外品検査機関へ依頼) 4	カビ毒 4	検査の結果、 いずれも問題 ありませんでした。	
放射性物質検査 (NaIシンチレーション スペクトロメータ※①)	検査数 71	米	野菜	果物	牛乳	鶏卵	水産	冷蔵日配	飲料	検査の結果、全て検出限界値 (20Bq/kg)以下でした。
放射性物質検査 (NaIシンチレーション サーベイメータ※②)	検査数 30	野菜	果物	きのこ	検査の結果、全てバックグラウンドとの差異が※③3kcps (キロ・カウント・パー・セカンド)以内となりました。					

※①NaI(エヌイーアイ)シンチレーションスペクトロメータ(遠隔体(しゃへい)付)付検出器で
核種を特定できるもの:ヨウ素131、セシウム134、セシウム137を測定)
※②NaIシンチレーションサーベイメータ
(遠隔体無し)の持ち運びできる機器:ガンマ線総量を測定)
※③3kcps(キロ・カウント・パー・セカンド):1秒間に対象となるものから何回放

射性物質が放出されているか測定するものです。奈良県行政と同様にバック
グラウンド(放射線測定の際の測定対象以外からの放射線や宇宙線や天然の放射
性物質に起因する)との差異を3以内としました。NaIシンチレーションサーベ
イメータではガンマ線総量を測定し、より多くの検体を測定し、検出が疑われる場
合は、NaIシンチレーションスペクトロメータで確認検査を行うこととしています。

